



氏家幼稚園だより 第10号

平成 28 年 3 月 14 日



ぐんぐんのびる 3月の子どもの伸びには目を見張るものがあります。縄跳び大会をきっかけにどんどん難しい跳び方に挑戦していく姿。困っている子やけんか中の子にどんどん介入していく姿。友達の得意なことを遊びとして提案する姿。思わず私たちも、自分の生活態度を振り返る場面に多く出会う3月です。



上の写真は、友達とやりたいことを実現しようと、庭でベンチを並べる年中さんの姿です。「ああしたい」「こうしたい」という思いを、一人でなく、友達と実現しようとするのが年中さんの発達の姿です。

こういった、子どもの主体性が伸びる、「環境」を通じた教育で、思考力、判断力そしてコミュニケーション力（考え合う力）が育ちます。

集中して活動する時間がある一方で、ちょっと一休みする場も必要です。しばらく友達の様子を眺め・・・、また飛び出していきます。子どもの気持ちを押し量り、無理なく発達に合わせた活動を保証したいと思っています。

卒園する年長さんへ

小学校へ進学するにあたり紹介したい本です。本当は小学校の中学年（3・4年）ごろ、勉強が系統だってきて、思考が具体から抽象に転換する頃、親子で読んでほしい本です。少しだけ中身を紹介します。

勉強にはやり方の工夫がある

- 勉強をもつ 二人でやれば覚えられる。とにかく覚えたことを人に話そう
 - 繰り返す 5回から6回繰り返した頃が頭に入る時
 - 問題集ではできた問題はどんどん捨てていく わからなかった問題に赤でぐるぐる丸をつけておく 後でやるのは赤丸がついているところだけ
- たくさんのお勉強のやり方のヒントが出ています。

